

# 令和8年度 上田市立清明小学校 自己評価シート

学校教育目標		めざす子どもの姿(中期的目標)		総合評価					
「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子どもの育成」		豊かなかかわりや さまざまな体験を通して 自分で気づき よく考えて 自ら行動できる子ども							
		今年度の重点目標							
		1	○五感を刺激する本物に触れたり、心が動くような体験をしたりする学習から、子どもたちが問いを生み出し、対話を通して互いの考えをつなぎ、練り上げ、更新していく授業を仕組んだか。【学びを拓く】	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
2	○日常のあらゆる場面で、あいさつを大事にした指導ができたか。また、自身が示範となるあいさつができたか。 ○相手を慮って聴いたり行動したりする子どもの姿を逃さず、その場で「よさを見出し、言葉にして伝える」ことができたか。【他者意識の育成】								
	対象	評価項目	評価の観点		A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標 自主の校風	学び 【心の道】	【学びを拓く】 ・見て、触れて、感じる体験 ・問いを見だし、自らの考えを持つ ・考えを伝え、つなぎ、深める	○五感を刺激する本物に触れたり、心が動く体験をしたりする場面を、学習のプロセスの中に位置づけることができたか。 ○「問い」を生み出し、対話を通して考えを練り上げ、更新していく道のりを支援できたか。 ○互いの考えをつなぎ、集団で学びを深めていく対話の場を、授業や活動で具現化できたか。	上記「今年度の重点」1にて評価					上記「今年度の重点」1にて評価
		【学びの定着】 ・「わかった!」「できた!」を積み重ねる学び ・自身の学びを深め、高める振り返り ・学ぶ習慣を身につけ、学ぶ楽しさを感じる家庭学習	○一人ひとりが「わかった!」「できた!」を実感できるよう、子どものつまずきを捉え、適切な助言や支援ができたか。 ○子どもが自分の学びを客観的にふり返り、自分の成長や課題に気づいて、次の目標をもてるような時間を設定できたか。 ○「家庭学習の手引き」を有効に活用し、家庭と連携して 子どもが自ら学びを組み立てられるよう支援できたか。						
	豊かさ 【神樹の心】	【他者意識の育成】 ・気持ちが伝わるあいさつ 「いつでも」「どこでも」「だれにでも」 ・相手を慮る心	○「いつでも」「どこでも」「なんどでも」の挨拶が、人間関係づくりの土台となるよう日常的に指導できたか。また、自身が示範となるあいさつができたか。 ○相手を慮って聴いたり行動したりする子どもの姿を逃さず、その場で「よさを見出し、言葉にして伝える」ことができたか。	上記「今年度の重点」2にて評価					上記「今年度の重点」2にて評価
		【主体的・協働的な活動の充実】 ・子ども同士のつながりを強くする、子ども主体の活動 ・集団としての合意形成 ・互恵性のある交流活動 (異年齢・地域の方 など)	○子どもが自分たちで工夫し、協力して進められる活動の場を意図的に設定することができたか。 ○意見がわかれたときも、話し合いを通して子どもたちが互いに「折り合い」をつけられるよう支援できたか。 ○地域や異年齢との交流において、子どもが自分の役割を実感し、自尊感情をもてるような活動の場を工夫して設定することができたか。						